

出前講座 「北上川における洪水浸水想定区域の見直しについて」

- 開催日時：平成28年8月1日（月）18時30分から20時00分
- 開催場所：花巻市文化会館大ホール
- 参加者：花巻市自主防災組織の代表者等 279名
- 講師：岩手河川国道事務所 調査第一課長 岩沢 博章

国土交通省岩手河川国道事務所では、随時出前講座を開催しております。

平成28年8月1日（月）、「花巻市文化会館大ホール」において開催し、花巻市の自主防災組織の代表者等279名が参加されました。

この出前講座は、花巻市総合政策部防災危機管理課が行っている「花巻市自主防災組織等リーダー研修会」の一環として開催され、当事務所調査第一課の岩沢課長が「北上川における洪水浸水想定区域の見直しについて」と題して講演しました。

平成27年の水防法改正により、洪水浸水想定区域の指定の前提となる降雨が想定し得る最大規模の降雨に変更されたことから、北上川においても平成28年6月30日に新たに公表しました。

今回の講演では、まず「洪水浸水想定区域」の概要と今回見直した内容について説明するとともに、新たに公表した「浸水継続時間」と「家屋倒壊等氾濫想定区域」について説明しました。

次に、河川堤防の特徴を紹介し、「河川堤防に求められる要件」、「越流による堤防決壊のメカニズム」について説明し、最後に花巻堤防の概要と構造を紹介しました。

今回の出前講座を通して、地域における自主防災活動の活発化と地域の防災力向上の一助となれば幸いです。



調査第一課 岩沢課長による講演



会場の状況